

三陸の海を放射能から守る 岩手の会（略称）三陸の海・岩手の会

郵便振替 02240-5-102650

ホームページ《再処理／岩手の環境》

<http://sanriku.my.coocan.jp/>

止めよう！ 《再処理》

《天恵の海》

2022(令和 4年)

2月 5日

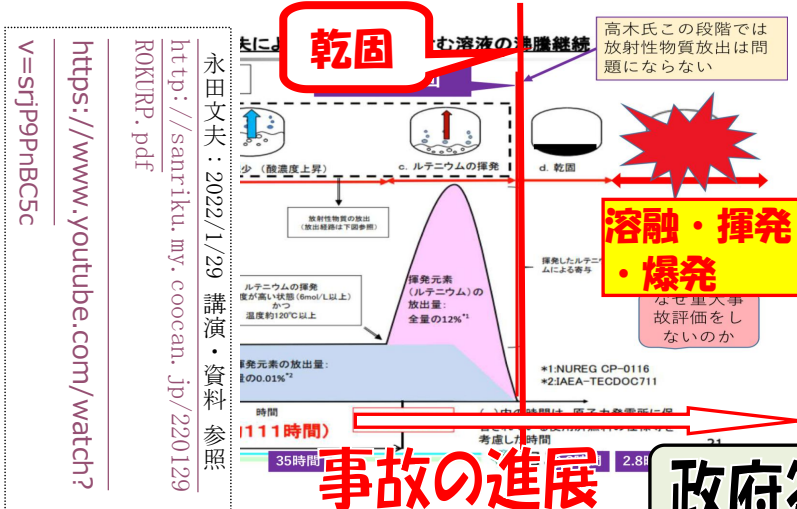
第 229号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

政府答弁：高レベル廃液重大事故対策について

「蒸発・乾固」後の 揮発・爆発対策を 対象にしない！



“起きる可能性のある事故は 全て 対象とすべきだ！”

福島みずほ議員 質問主意書

昨年12月の質問主意書への政府答弁書は、看過出来ない、規制委員会の責任を放棄する内容でした。

政府答弁書の矛盾する回答

乾固し、事故が収束とは認識していない

第204国会 質問主意書内閣参質第一八号

令和三年三月二日 答弁

(1頁 一の1)

・・・高レベル廃液等の温度を低下させ・・・事態を収束させるための対策が有効に機能するかを確認したものであり、ご指摘のように「乾固し、事故が収束する」とは認識していない。

乾固後の揮発や爆発は審査対象とせず

第207国会 質問主意書内閣参質二一八号

令和三年二月二十八日 答弁

(4頁 最末尾の文章)

・・・高レベル廃液の沸騰蒸発対策が有効に機能し、乾燥及び固化に至らないことを確認していることから、『蒸発・乾固後の揮発や爆発の対策』については対象としない。

参議院 ホームページ

該当の質問主意書 URL

<https://www.sangiin.go.jp/japanese/johol/kousei/syuisyo/204/touh/t204018.htm>
<https://www.sangiin.go.jp/japanese/johol/kousei/syuisyo/207/touh/t207021.htm>

一、「大容量貯槽の破裂」と「蒸発・乾固」について

質問―第一五回原子力災害事前対策検討チーム適合資料四―三「再処理施設の防護措置」に載る「IAEA安全指針の四項目」には災害対策上の脅威とし、③大容量液体貯槽の破裂(蒸発・乾固)と記しているが、蒸発・乾固はIAEA文書にはない。「貯槽の破裂」と「蒸発

乾固」の事例では、漏出する放射性物質の量が、極端に異なり、審査に大きな影響を与える大問題であり、政府の見解を示されたい。

「蒸発・乾固」が審査資料に加えられた目的と経緯も示されたい。

答弁―日本原燃が再処理工場ハザード評価として仮定した「蒸発・乾固」「水素爆発」などは、敷地外にも影響し得る。

二、「IAEA安全指針にある「大容量液体貯槽の破裂」について

質問―何故重大事故としてIAEA基準の大容量液体貯槽の破裂が「再処理規則第一条の三」に記載されていないのか理由を示されたい。

答弁―「大容量液体貯槽の破裂」を重大事故に設定しなかった理由は「再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」及び「解釈」において、重大事故が単独ある

即ちIAEA安全指針の「大容量液体貯槽破裂」と同じ重大事故である。
コメント―「蒸発・乾固」があたかもIAEA安全指針の基準として書かれているかのように安全審査検討チーム資料に挿入された経緯を質した。しかしその回答がない。水素爆発と蒸発・乾固が同時に起こったとしても、貯槽の破裂には至らない、放射能放出量は貯槽の破裂に比べ問題にならない量である。蒸発・乾固に続く溶融・揮発・硝酸塩爆発こそが大量の放射能の環境汚染をもたらす重大事故になるのである。

コメント—水素爆発は弱く貯槽が破裂するとはさ
れていない。「蒸発乾固後
は対象外で審査せず」と
答えておきながら「大容
量貯槽の破裂も対策を確
認している」と矛盾した
回答だ。破裂に直結する
硝酸塩爆発について全く
確認されていない。

質問—I A E A 安全指針

答弁―蒸発乾固や水素爆発を「大容量液体貯槽の破裂」に相当する事象と考えた。恣意的な過小評価ではない。

貯槽の破裂」を全く審査せず、にこの答弁はごまかしで

質問―前回提出の質問主

答弁―蒸発乾固に至らな

コメントー起きる可能性

2112280&A&C.pdf
(coocan.jp)

上映

1, 最も危険で無駄な再処理事業中止、プルトニウム利用中止の決断を。

用済み核燃料と、五五〇立方メートル（東海と六ヶ所再処理工場貯蔵）の高レベル放射性廃液の安定保

3、最悪の事態を想定し、
全国民の避難計画と
ヨウ素剤配備の実施。

― 再処理工場の重大事故は防げるのか

海再処理工場三匹の立方形はガラス固化できるのかなど

質問―六ヶ所工場は二〇二二年秋を竣工と予定し高レベル廃液を減らしてから稼働というが本当か？東海工場は、ガラス

回答―六ヶ所工場は竣工が決まれば、先ず廃液を一〇〇立方メートルまで減らす方針であるなど。

質問（岩手の会担当）――
再処理規則（重大事故）

機能喪失による「蒸発乾燥」と記されているが、
IAEA基準「大容量液体」

場はなぜ、重大事故対策「脅威区分Ⅱ」なのか？

六ヶ所工場の「高レヘル
液貯槽」と「三〇〇〇

「計算してみると「脅威区分Ⅰ」である。どのような計算をしたのか？」

回答―再処理規則第一条の三（蒸発乾固）により

重大事故を審査している敷地外に重篤な危険性が

ル放射性廃液」や、「三〇〇トプール使用済み燃料」の保存放射性物質質量

原二刀過告事女の
質問

質問―原子力過酷事故の最高責任者は誰か、最近の地震は、四〇二二ガルの大きなものが頻発している。東京の耐震強度

は一〇〇〇ガルにも満たない。大丈夫なのか。避難区域PAZ五^キ、UP

回答―原発の耐震評価はZ30ポールの実交性が疑われる、など。

地表ではなく、固い基礎地盤を測定し決めているので、数値よりは安定している、など。

Ⅲ フルトニウム利用をなぜ止めないのか

質問―廃炉の決まったものじゆについて、「高純度プレンニウム」し%で

あるブランド燃料体
について、行方はどうな
っているのか、プルトニ



福島みずほ
議員

山崎誠（立憲） 穂（社民）菅直人（立憲） 福島瑞

多忙な中出席頂きました。議員と市民運動が力をあわせ、『原発ゼロ』の再提案から始めて強固な運動をめざすことが語られました。